

1. 評価結果概要表

作成日 2008年9月24日

【評価実施概要】

事業所番号	1275800223		
法人名	(有)弥生トータルプランニング		
事業所名	グループホームぬくもりの家		
所在地	〒299-3233千葉県山武郡大網白里町永田956-5 (電話) 0475-72-5193		
評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	〒260-0026千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成20年9月24日	評価確定日	11月20日

【情報提供票より】(20年9月9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年7月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	6人
職員数	10人	常勤	5人, 非常勤 5人, 常勤換算 6.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	1階建ての	1階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000円, 33,000円, 30,000円の部屋有り	その他	食費36,000円, 水道光熱費9,000円, 理美容代1,000円, おむつ代実費		
保証金の有無	有り (300,000円)	償却の有無	有り (期間:2年)		
食材料費	朝食	250円	昼食	350円	
	夕食	500円	おやつ	100円	
	1日当たり 1,200円				

(4) 利用者の概要(9月9日現在)

利用者人数	6名	男性	1名	女性	5名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	2名		
年齢	平均 81.5歳	最低	70歳	最高	87歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	錦織メディカルクリニック	みずほ台歯科
---------	--------------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR外房線永田駅から徒歩7分。自然が多く残る一角に平屋のグループホーム「ぬくもりの家」がある。ここは、かつて法人代表が住んでいた家を改造したホームである。敷地内には梅の木、栗の木、竹林があり、季節ごとに収穫した産物を食卓に採り入れている。認知症が比較的軽度な入居者6人が、家庭的環境の中で明るく、笑い声が絶えない生活を送っている。職員の中には看護師、管理栄養士、音楽療法士などの有資格者がおり、入居者へ質の高いケアが行われている。地域活動には入居者と職員が共に参加し、近隣との関係も良好で、地域に根差したホームとして益々の期待が寄せられる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価は管理者が口頭で職員に伝達した。改善計画シート等の記録書類はないが、前回の改善課題であった「地域とのつきあい」は自治会活動、老人会行事への積極的な参加、近隣住民からの野菜のおすそ分け等、地域との交流が築かれてきている。今後、改善点を明確にして記録し、計画を立て、全職員での取り組みが期待される。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	事務所の机の上に自己評価票を置き、職員に目を通すよう促した。月1回の職員会議で意見を聞き、施設長と管理者でまとめ、作成している。しかし、自己評価の意義が全職員には理解されていないと思われるので、今後は評価の意義や活用について説明し、全職員での自己評価への取り組みが望まれる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、行政職員、民生委員、近隣住民、家族代表の参加のもと、5月に開催された。行政の担当者が異動して新しい人になったため、改めて認知症高齢者グループホームの説明をした。農業を営んでいる参加者が多く、農繁期をさけ、次回開催は10月を予定している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関には意見箱が設置されており、苦情相談窓口の案内が貼られている。しかし今までに家族等から苦情が寄せられたことはない。今後は、入居者・家族が気軽に意見を伝えられるよう、取り組みが期待される。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	公民館や、ごみステーションの清掃、空き缶拾い等、地域活動には入居者と職員が共に積極的に参加している。また、老人会主催の敬老会、地域の運動会にも参加したり、散歩の時には近隣住民への挨拶や近隣から野菜のおすそ分け等もあり、地域との関係は良好である。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念として「笑顔」をあげている。ホーム内では理念を文字にして掲げていないが、絵の得意な職員が描いたおじいさん、おばあさんの笑顔をリビングに貼っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は常日頃、理念について話し合いをし、入居者の笑顔がその家族や職員の笑顔に繋がることを意識してケアにあたっている。入居者もホームの理念を理解している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会への加入や老人会の行事、地域住民が取り組んでいる公民館やごみステーションの清掃、空き缶拾い等、職員は入居者と共に積極的に参加している。また、近隣住民からの野菜のおすそ分け等もあり、交流が広がっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票は、まず事務所の机の上に置き、職員に目を通すよう促した。その後、月1回開催される職員会議で意見を出し合い、施設長と管理者でとりまとめて作成した。前年度の評価結果については口頭で職員に伝えただけで、改善計画等を立てるには至っていない。		管理者が評価の意義や活用の仕方を全職員に伝えることで、職員の共通意識を高め、より効果的な外部評価受審が出来ると思われる。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	5月に行政担当者、民生委員、地域代表、家族代表が参加し開催した。行政職員の交代もあり、改めてグループホームの説明を行った。運営推進会議メンバーの中には農業関係者が多く、農繁期はなかなか時間が揃わないので次回開催を10月に予定している。今回は田植えが終了した5月に行った。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	2ヶ月に一度、グループホーム会議が町役場で開催され、勉強会等も行っている。その会議には施設長、管理者が参加し、行政と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月ごとにホーム便りと介護記録を家族へ送付している。金銭出納は、入居者個々に使う金額が異なるため、預かり金が少なくなったら家族に電話する。その際、面会を兼ねてホームへ小遣いを持ってきてくれるようお願いする。細やかな報告を希望する家族には何かあるごとに連絡する。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの玄関には意見箱が置かれている。また、苦情・相談の窓口案内もされているが、今までに苦情・不満は届いていない。		家族とはかく遠慮が先立ち、意見要望を言えないものである。家族等が気軽に意見や不満・苦情を伝えられるような関係を作り、積極的に聞く場面を作ることが期待される。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設6年目のホームであるが、職員の定着率が良く、入居者と職員の関係は良好である。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は外部研修の案内を全職員に提示し、参加希望者を受講させている。しかし、年間予定を立てて計画的に人材育成するには至っていない。		研修の効果をより一層上げ、人材の育成を図るには、職員個々の経験や技術レベルに基づく計画的な受講が必要と思われる。外部研修だけでなく、内部での勉強会等も大切と思われる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	以前行われていた他グループホームの介護者との交流は、現在行われていない。折を見て再開に向けた働きかけを行っていききたい意向がある。		サービスの質の向上を図るという視点からも、ネットワーク作りや勉強会の実施、相互訪問の再開が期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>帰宅願望の強い入居者のため、体験入居や家族の宿泊、外泊支援を行っている。入居当初は家に帰りがた入居者も、今ではすっかり落ち着いてホームに馴染んでいる様子が見受けられた。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者から、洗濯ものの干し方、野菜の切り方、拭き掃除の仕方等、学ぶことが多い。また、民謡の得意な入居者が歌いだすと、それに合わせみんなで手拍子を取り、大合唱になって楽しいひと時を過ごしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>業務日誌、ミーティング等で入居者の希望や意向を職員全員で共有し、本人本位のケアに努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者本人、家族の意向を把握し、その上で月1回スタッフ会議を開いて十分に意見交換を行い、介護計画を作成している。入居者本人が居心地良く暮らせることを第一に支援している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月毎に見直しをしている。日々の変化は、毎日のケア、個人記録、個人日誌、介護日誌等で把握し、現状に即したケアを行うと共に、介護計画に反映させている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外泊、入居者個々の希望に沿った買い物、外出の支援を行っている。かかりつけ医、眼科、歯科等への通院も職員が介助し、支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの提携医院に1ヶ月に一度(2週間に一度、2回に分けて)受診支援している。他に個人的にかかりつけ医のある人も支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、該当する入居者はいない。重度化や終末期に向けた支援は、家族の協力があれば、職員がチームで取り組む姿勢はある。しかしながら具体的な方針等はきまっていない。		ターミナルケアは、いずれ直面することになる問題なので、該当者がいなくても、ホームとしての方針や必要な知識・技術の取得などを行い、準備をしておくのがよいと思われる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さりげない言葉かけ等で一人ひとりの尊厳を大切にしている。個人情報等は職員室で保管している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スケジュールは立てず、入居者一人ひとりの生活のリズムに応じた過ごし方を支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、入居者と共に、下拵えや後片付け等を協力し合って行っている。やりたくない入居者に無理強いはいしない。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、週3回午後2時から夕食までの間であるが、シャワー、清拭はその限りではない。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	音楽療法士の資格を持つ職員のギターに合わせて皆で合唱したり、縫い物、大正琴、歌等、個々の楽しみ事の支援をしている。また掃除、食事の準備や片付けも、個々の力を活かした役割分担をし、協力し合っている。これにより生活にメリハリとリズムが生まれている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者個々の希望に沿って、趣味の品物の買い物、個々のペースに応じた散歩、ひと月に一度の外食等、希望に沿って支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員が見守り、近隣住民の協力を得て、鍵をかけないケアを実践している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	一年に一回人工呼吸法、消火練習等実施している。近隣との協力体制もある。しかしマニュアル等防災に要する整備が不十分である。		緊急、防災対応マニュアル、役割分担、備蓄食料等の整備が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量、水分量は個人記録に記入している。責任者が管理栄養士であることもあり、栄養のバランスは十分に配慮されている。入居者個々の健康状態に合わせた献立、調理の形状など、事細かに対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家をそのまま残したホームのたたずまいは、周りが自然に囲まれていて静かである。明るい玄関は開け放されて開放感があり、木のぬくもりのあるリビングには入居者の絵や、折り紙が飾られている。庭に通じる大きな窓から明るい陽が差し込み、自由に庭に出入り出来るアットホームな空間である。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は畳敷きで写真や作品等、思い思いのお気に入りの物が飾られて整頓され、窓も大きく明るい。		